

日野市

問 12-9

その他、長期にわたる避難生活を続けていく際の問題点として心配なこと、気がかりなことがありましたら、以下へご自由にお書きください。

注：[] 内は調査者による補足

■自宅等の管理、避難終了後の住まい

- ・ 避難生活で違う土地へ移動した際の残された家の治安問題が1番心配になります。
- ・ 別の土地にでも、家の再建の可能性があるとういのですが、そのような希望が持てなくなる。 (希望があれば頑張れる!!) 避難生活中のローン支払い、その他保険、個人年金等の支払いが、職を失った場合とても心配です。
- ・ 現自宅住居の維持、管理に問題有り。
- ・ 自宅・不動産・資金・収入等。
- ・ 留守宅の状況。
- ・ 現存、所有しているマンションの管理、またそれに伴う、国、都、市からの援助など。
- ・ 日野市外に所有する家屋の維持・管理。
- ・ 高齢になり、耕作するための足(車)が心配です。
- ・ マンションのため共有物としての所有のため、東日本の時も阪神の時も課題になっているが修繕できるのか否か等、マンション内でも分裂すると思われ、ローンも残る中で、住み続けられるのかどうかの不安が強くある。又、夫婦とも職場が23区内で、朝早くから夜遅くまでほとんどをそちらですごしており、自宅は、夜間の数時間と休日くらいしかおらず、不在にしがちで知り合いもいないため、不安も強い。
- ・ 家屋内の荷物類 家具類等の保存。
- ・ 家屋、家財の状況について。火災範囲状況について。
- ・ 自宅がどうなっているか。家(壊れているとして)の後始末。再建できるかどうか。
- ・ 家のローン返済がどのようになるのか(建物の倒壊の度合により)。
- ・ 残された家の事。
- ・ 自宅に置いてある生活用品や車など。
- ・ 長期間、家を空けておくに当り、盗難、防火等、家の管理を、誰に頼むか、決めておかななくてはならない。このような事を想定した事がなかったのもとても参考になりました。今後、家族ともども話し合っておかななくてはと改めて思いました。
- ・ 家の片付けや維持。
- ・ 自宅の管理、郵便物、友人との連絡。
- ・ 自宅の管理。
- ・ 自宅の管理、片づけ。プライベート保護。
- ・ アパートに残しておく財産などの保全(単身のため)。
- ・ 不在中の家屋の管理。

- ・ 日野の自宅がどうなっているのかが気になると思います。住めないとはいえ、今後住むことを考えると、住めるように修繕したり、費用や保険などのこと、あとは活費とローンなどお金の面も心配。
- ・ 自宅の再建、高齢者なので健康問題。
- ・ 家のローンの返済、プライバシー、トイレ、車の管理。
- ・ 家の管理（費用を含む）。
- ・ 留守にしている自宅の管理。
- ・ 自宅の管理。
- ・ なるべく自宅を修理できたなら自宅に戻りたいと思う。気を使い、同居は色々問題がありそうですし、身体も動かさないと障害も出てきそうですし、自分の事は自分でやりたいと思う。
- ・ 現在の住まいに戻れるかどうか？
- ・ 自分が所有している家、土地の価値や、帰宅後の修理、ローンの事。現在、子どもたちの友だち関係の事。

■生活全般

- ・ 食事や健康管理、共同生活によるストレスなどに対応しなければならない事など。
- ・ 生活全般、(子どもの保育園、金がなくなる不安、仕事ができにくい不安) の変化から、体調が悪くなりそう。
- ・ 住まいと金銭とかが心配。医者。
- ・ 日常生活に必要な食事、買い物等。避難所の衛生面。現金を払出すことができる、金融機関があるのかどうか(キャッシュカード、通帳印鑑を持って避難しているかどうかもわからない)。
- ・ お金の問題、食べる事、住居。
- ・ 衣食住が確保されれば我慢する(衣食住が心配)。
- ・ 夫は後期高齢者、私も高齢者、環境が変わると生活がむずかしい。
- ・ 生活環境、水準の維持、仕事、近所など人間関係など、心配な事は限りないですが、逆に、どうにもできない、というか無力かな、とも思っています。
- ・ 預金の確得。生活リズム(自分流の)。やりたいことができる。やることがある。与えられるだけでなく、能動的に生きたい。
- ・ 健康、生活に必要なお金、衣食住(トレイ・食事・睡眠)、感染症、ストレス。
- ・ 食料品生活用品がそろるか。健康、お金、子ども、孫に迷惑をかえないで暮らせるか。避難場所でまわりの人と上手につきあえるか。どちらかが先に亡くなったら、情報が聞けなかったら。家の上に高圧線が通っている。
- ・ 大きいサイズの服が買えるのか、手に入るのか気掛りです。家族さえいてくれば四畳一間でも暮らしていけます。
- ・ 食事、トイレ、医療。
- ・ 生活できるのかどうか。
- ・ 仕事、子どもの通学、親の介護。
- ・ 自分たちの力でどれくらいの生活ができるかが心配です。

- ・ 食事面。健康管理（運動不足）。
- ・ まず、衣・食・住のこと。それと、復興に向けた金銭問題。
- ・ 食料、日用品等、生活に必要な物の流通。交通網、ライフライン。
- ・ 日常の生活（最低限）。
- ・ 夫婦ともに高齢なので長期の避難生活には耐えられない。76才と73才。
- ・ 実際に長期の避難生活は、想像以上のものでしょう。心身のケアを冷静にできるようにと願っています。
- ・ 電気・ガス・水道等の住宅インフラの確保、電話・インターネット等の通信インフラの確保、電車・バス等の公共交通インフラの確保、スーパー・コンビニエンスストア等の買い物インフラの確保等は必須要件と思います。
- ・ すべてが不安です。
- ・ 生活すべて。
- ・ 食料の確保、病院探し等、全てに不安です。
- ・ 小さい子どもがいるため、医療面、食事面の心配。金銭面（国からの補助??）
- ・ 生活費、インフラ、体調が良ければボランティアにて活動していきたい。災害時に食料不足が心配です。現在の日野市が住民の避難生活の確保ができるかがわかりません。三年～五年の生活ができるように住民に知らせる必要があると思います。現状は不安です。
- ・ 金銭的、精神的につらい。
- ・ 健康、孤独、人との交流、病院、買物。
- ・ 今のところ、まったく言ってよいほど見当も付かないので分かりませんが、周りに(近くに) お店が無かったら！と不安。食料品等です。
- ・ 生きるための水、食料、健康を害した時の医療、薬などどのくらい時間が経過すればある程度の生活レベルまで復旧してくれるのかあたり前ですが心配です。
- ・ 長年の雇用者生活に慣れており、テレビ等で見ている生活を余儀なくされる事について、理屈では承知していますが、実際に起こるとすれば、覚悟しなければならないと思っています。
- ・ 長期の場合には、どうしても生活用品や衣食住の身近な事が多くあると思うので、できれば現在地に住めれば一番良いと思う。他の土地へ行く事は生活用品全てを確保しなければならないため、資金の問題も考えなければならず大変だと思う。又は期間もあやふやのままでは、精神的に苦痛が続くと思う。
- ・ 希望が持てないような生活になるのなら長く生きていたくない。命を終わらせたい。
- ・ 家族の安定した生活の維持（仕事や学校など）。
- ・ 現在の生活の状態や環境に満足している。避難生活によるこれらの変化に対しては、夫婦ともに古稀に達しており、肉体的、精神的な負担に耐えられるや否や不安がある。
- ・ 私たち夫婦は私79才と夫が80才を過ぎていますので避難先での生活が心配です。環境になじめるかが。
- ・ 仕事場が日野市にあり、ほぼ全ての生活範囲が日野市でまかなえている。長期にわたる避難生活を続けるということは、日野市から生活の基盤を他の場所に変えるということになり、新しい生活に慣れない可能性がある。また、新しく生活をはじめる資金

も心配。避難生活者は皆神経質になってしまうので、隣人トラブルなどもあるのではないかと不安。

- ・ 食糧の確保。
- ・ 生活に問題点があれば、検討する。
- ・ とにかく衣食住の確保ができるのか不安である。
- ・ 快適な住居の確保。健全な飲食品の入手。知的、情緒的刺激的交流。
- ・ 医療機関やスーパーなどが近くにあるのか。
- ・ 生活費、食料の確保、長期の場合人間関係がむずかしいのではないかと。
- ・ トイレの場所、入浴の場所、水の確保。
- ・ 公的年金・貯金の引出し方法及び場所、食料品等の確保。
- ・ 生活全般 仕事、生活費、医療（現在通院中）、住宅ローン返済。
- ・ 子どもの教育環境（大学）、就職、自宅での商売の再開、住居の確保。精神的な安定。
- ・ 避難先への負担と経済面について。
- ・ 健康問題、生活資金確保、仕事をしていれば通勤問題等々。
- ・ 生活。
- ・ (イ)食料、食品の安定的供給があるか、(ロ)医療機関があるか、(ハ)電気、ガス、水は充分であるか。
- ・ 衣・食・住。
- ・ 今は両親の介護も終わり、身軽ですが、何年後か、自分が、年を取ったら…。
- ・ 食料やインフラの問題、収入の問題が気がかり。
- ・ 水と衛生の確保ができるかどうかで生きられるかが決まると思っている。なので上記の確保できるかどうか心配。
- ・ ①経済的な支援は受けられるか？ ②食糧の支援は！ ③医療が近場で受けられるか？ - ETC -
- ・ 健康面とか収入面など心配はありますが、地震が発生しない事等祈ることで。
- ・ 避難生活が必要となる期間。ライフラインの復旧に要する期間、復旧までの措置。
- ・ [夫婦が] 2人とも高齢者なので問題点は考えられないくらい有る。
- ・ 今のところ、わからない。トイレ・ふろですか。
- ・ 食事、衛生面、子どもの事全般。
- ・ 避難生活で何が必要なかわからないこと自体が不安です。
- ・ 親戚は少なく、子どもたちは近くにいますが、将来が心配。
- ・ 生活費や人間関係等。
- ・ 自宅の事、健康問題、お金の事。
- ・ 金銭面、衛生面、健康面に不安があります。
- ・ この先、結婚し子どもがうまれたらどうなるのだろう。
- ・ 衛生面、金銭面、精神面等、どのくらい長期になるかにより異なるが、ある部分体力勝負という面もあるので、その点自身がどれだけ耐えられるか心配である。
- ・ 家族の健康、生活、地域の目標（計画）など都市で早く報告してほしい。
- ・ 高齢のため。
- ・ 食事が充分に取れるか、またお風呂に入れなくなるのか不安。

- ・ トイレがとても近いので避難生活が堪えられるかそれがとても心配です。
- ・ 仕事、通院、薬。
- ・ 単身であるので、近くに親しい知り合いもいないので、自力で避難先を見つけるつもりです。なるべく行政の世話にならないようにしたいが、自宅（マンション）が今後どうなるかなどの必要な情報が入手できるか、当座の生活費が、金融機関からおろせるのか心配です。ただ、その時に病気や、ケガをしていたら、どうなるか、不安であり、方策がない状態です。
- ・ 私たち年寄りにはものすごく匂いとか少しの騒しさに敏感で口に出せば我慢だとか色々言われがちですのでどうしても自分の家があればそこに留まりたいですネ。それにトイレがどうしても大勢の人と一緒にと云うのが我慢できないです。これは一番考えてほしい。トイレ問題です…。
- ・ 生活環境の変化、趣味などの中断や仲間との別れ。同居人に対する気づまり。
- ・ 住宅や食品、電気、水道などの生活。

■仕事、収入確保、生活費

- ・ 仕事、生活資金の確保、安定した住居の確保、家族（近所）の衣食住の確保。
- ・ 福島の私の実家に世話になると思いますが、収入としての年金がしっかりと入ってくれば、よいのですが、どうなるのかそれが心配です。
- ・ 生活費。
- ・ 収入確保についてはかなり不安があり子どもの通学ができない場合の対処。
- ・ 以前の生活は無理でも経済的にある程度自立でき、心身ともにすこやかに過ごす生活ができるのか？家族がバラバラにならないか？とても心配です。
- ・ 金銭問題の他、食物アレルギーの子どものための食糧確保。
- ・ 会社員として現役生活を送っているものとして避難は会社にとっての配置転換など考慮するのか不明。
- ・ 避難先での仕事の確保&収入。
- ・ 収入面→現状の収入、仕事が確保できるか。
- ・ 収入。家族と別居か？（夫が公務員のため夫は遠い場所には行けない）現在の資産（土地・家）の今後。
- ・ 公的補助金（生活費等）や支援金の目安が不明。
- ・ 避難生活を送るにあたり資金が必要になるがその生活資金を燃出できない。仕事もすぐ見つかりそうにないし収入がない。
- ・ 勤務先（都内）への通勤。
- ・ 職場も日野市にあるので、仕事自体を失うかもしれない。避難生活で住民の精神が荒廃し、犯罪が増えるかもしれない。お金もない。
- ・ 自営業として生計が成り立つか。
- ・ 勤務先も東京であり、避難するとなると、勤務先もなくなるのかもしれない。生活（衣食住）が根本から変わる事。
- ・ 田舎には仕事がないため、金銭的な面で心配。人工透析を週 3 回受けているが、病院の少なさ、アクセスの悪さで続けていくのは大変である。

- ・ 収入の問題が気になる。家を失った後に残る住宅ローンと、生活費を支払い続ける収入が得られることができるのか？今の仕事を継続して従事できればよいが。
- ・ 仕事、収入確保。仮に、今の仕事を続けられるとして、通勤ができるのか。
- ・ 職場復帰できる住環境の確保。
- ・ 仕事に対する、通勤等が心配。日々の生活（食糧・生活費等）が心配。
- ・ 会社を経営しているので、事業が継続できるかどうか？
- ・ 資金がまったく無いので困る。
- ・ 生活をするための収入、集団行動をとるための精神的負担。
- ・ 生活費の確保をどうするか。
- ・ 収入と仕事。
- ・ 収入面が一番心配。避難生活がまったく想像がつかない事。
- ・ 新規の家賃や現状のローン。
- ・ 長期であると収入（仕事）の確保が心配。
- ・ 子どもがいるので、安全を第一に考え避難先を決めることになるが、自分自身や配偶者の仕事を考えると遠方はむずかしい。どちらかが仕事をやめるという選択をせざるを得なくなるのか。
- ・ 住居は確保できても仕事の存続ができない⇒生活できないのと同じ（収入がない）。
- ・ たとえ、親族の所で生活できてもいつまで今持っている預金ももつか…？
- ・ 勤務先企業の存続。
- ・ 収入。
- ・ 年金生活なので地方へ転出して手続上等で年金が途絶えたら即生活に困る点、体力もないので働くこともできないのでこれらが気がかりです。
- ・ 立川で仕事をしており、他に仕事を見つけられるか否か、不確定である。
- ・ 経済的な問題。
- ・ 仕事のこと。
- ・ 会社を経営してますのでその点が心配。
- ・ 収入が一番心配。
- ・ 給与収入の確保。
- ・ 金銭面。
- ・ 仕事！！
- ・ 収入。
- ・ やはり、お金の問題が一番心配です。それを考えすぎると心の問題が考えられます。
- ・ 収入確保、二重ローンなどの問題がもっとも考えられる。日頃医療サービスなどのサービスは受けてないのであまり不安なし。
- ・ 収入確保のため、就労の道があるか、高齢の両親の身の回りのこと。
- ・ 避難生活中の生活費（収入）はもちろんだが、戻ってからの仕事復帰がどうなるのか心配。
- ・ 私も妻も都に職があるので、それぞれの実家から現在の仕事に通うことは難しい。やはり、隣県や仕事場に近いアパート等をみつけて、通勤することを考える。その際の子どもの教育、収入等も不安です。

- ・ 収入の問題だと思う。避難先で十分な収入が得られるのならそれは移住という事になるのでなんとかなると思う。世界中見渡せば移住している人は多い。
- ・ 1番は金銭的なことが心配。
- ・ 経済的な負担、近い将来への不透明になる見透し。
- ・ 収入が無くなる事がとても不安に思います。
- ・ 生活費なし（年金が紛失したため）。
- ・ 金銭問題。
- ・ 仕事が続けられるか。
- ・ 生活費の確保（夫が都内の勤務先に通えないと収入がとだえるため生活していけなくなる）。避難先で仕事もない状態が続くと、精神面に悪影響があるのではないかと心配です。
- ・ IT企業に勤めているので就職先がないことへの不安があります。親しい遠方の友人というのもないです。
- ・ 仕事をしている娘の勤務先が国立市なのでそこへ通いきれるか心配。
- ・ 仕事に戻れるようであれば日野市に戻って生活をたてなおすと思います。
- ・ 自身の仕事及び子どもの教育環境。
- ・ 現在日野市にある職場がどうなっているかにもよるが職場が残っていれば戻ると思う。
- ・ 避難中の収入確保が心配。
- ・ 収入、子どもの学校。
- ・ 仕事を失った場合の生活の保障、子どもの教育。
- ・ 夫婦ともに病院通いをしているため医療費などの出費が生活費（出費がどのくらいになるのか→（年金生活に入るため）非常に気になります）を圧迫しないか心配です。
- ・ 生活費→年金額少なく、医療費が一番心配。
- ・ 住宅ローンの返済や仕事等の金銭面の問題。そもそも、避難するための交通はどうなっているのか。
- ・ お金。
- ・ 仕事、ペット。
- ・ 夫の仕事が続けられる場所へ避難できるか？
- ・ 収入の確保。日野市の対応が今の時点では不明（前もっての指針があるのか？）、住宅の確保など。
- ・ 経済的問題。
- ・ 避難先での就職。
- ・ 収入面が不安。
- ・ 東電の事故の例にとると、避難者ではなく、会社の考えで保障がうち切られたりする事。
- ・ 収入確保がやはり心配です。
- ・ 現時点では仕事への影響の程度（可能なら現在の仕事を続けたいため）。
- ・ 宅地建物取引主任者の資格があるものの、年齢が高いため、仕事を確保できるかが心配。

- ・ 収入面。
- ・ 日野市で自営業を営んでいるため（テナントとして）、その業務を続けていけるかどうか（場所にこだわらず）。
- ・ 経済的なこと。生活に関する費用の全て。
- ・ 収入の確保は心配。
- ・ 年金の振込みが生活費のすべてです。役所の振込みや銀行の業務が不能になってしまうとただちに生活に影響しますので心配です。
- ・ 現在の仕事が続けられるか否か、気になる。会社の損壊状況、復旧状況。雇用への影響（リストラ）。避難先から通勤可能かどうか？
- ・ 仕事の事、空き家の管理。お金の事。

■健康、医療、障がい、通院など

- ・ 現在は夫婦とも元気ですが年老いての生活で健康面が心配です。
- ・ 健康問題と避難先への融和。
- ・ 持病（難病）をかかえているので健康管理。病気が悪化してしまった時の対応（入院など）、毎日かかすことができない薬の入手。
- ・ 健康を維持するための施設や援助があるか。
- ・ 降圧剤や骨粗鬆症の飲みつづけている薬がどうなってしまうのか心配です。
- ・ 健康問題。
- ・ 避難生活における健康維持、QOLの確保ができるか不安を感じる。
- ・ 腰痛や年齢とともに他の病気も有り避難生活も無理なので心配している。
- ・ 高齢者ですので長期に渡る避難生活にはなんと云っても健康面でとても耐える事ができないだろうと思います。
- ・ 健康の管理が気にかかる。
- ・ 私の病気、心臓病は福島の会津山奥には病院がないので心配です。
- ・ 現在、「要支援2」で買物等を手伝ってもらっています。持病は、喘息、リウマチ、狭心症と糖尿病があります。家族は別居一都心一独身で弁護士（36才）長男です。私の住む住宅街は近隣との交際がほとんどない状態です。又、老人世帯ばかりで若い人が少ないです。
- ・ 夫、私自身ともに身体障がい者で、難病を患っているため生活は他所ではできないと思う。
- ・ 健康上の問題（現在78才）。
- ・ 現在夫、80歳、私79歳。幸い病院に通いながらも健康を保ち元気に過しています。この先どのような環境におかれてもある程度自分のことは自分でできるよう自立を目標に体には充分気をつけたく思っています。
- ・ 私はオストメイトです。そちらへの対応が心配です。
- ・ 健康問題（生きていられるか）、年齢的に。
- ・ 障害者に対しても、それぞれ事情が違うのでその人に合った対応を期待しています。
- ・ 生活環境の変化により、健康悪化等問題発生が懸念される。
- ・ 病院が近くにあるか、又日常の生活に必要なお店が近くにあるかが心配です。

- ・ 高齢の1人暮らしですので、病院、介護等とても心配です。
- ・ 病気の治療など。
- ・ 健康。
- ・ 常備薬の入手。心の問題。収入、仕事が続けられる状態かどうかにもよる。
- ・ 健康問題（高血圧）。
- ・ 家族の健康、特に今現在通院しているのと同等の医療サービスが受けられるか。収入（仕事いわゆる職）について。家の片づけ等、いわゆるあとしまつ。
- ・ 年齢的に健康面で不安はある。環境が変わった時に発症することなどもあり、避難場所に医師の確保ができるかどうか。日野市立病院が拠点として機能できるように願っています。
- ・ 主人の収入確保。子どもが小さいので色々な面で不安。
- ・ 健康の問題 医療関係の施設が近くにあること。週2〜3日勤務しており交通が心配。
- ・ 健康問題。
- ・ 1月に1回必ず、医院に行き薬をもらわなければならないのでそれが可能か心配です。
- ・ 健康の維持管理、通院。
- ・ 健康の面が一番の気がかりです。
- ・ かかりつけの医師にかかれなくなる（健診）。墓参できない所へ住むようになった時。
- ・ 健康管理をどうするか！
- ・ 心身に関する事。
- ・ 定期的に病院に通院しているので、くすり等心配です。
- ・ 健康面（衛生面を含めて）。
- ・ 衛生面→病気。プライバシーの問題。
- ・ 高齢のため医療機関。
- ・ 健康面、高齢なため心配。医療（夫が体が弱い）ため）。
- ・ 一人暮らしのため避難できるか心配（ヘルパーさんは来ているが誰もいない時）、
- ・ 動けないため（すぐには）ベッドの上で身を守るため座布団などはベッド脇においてある。
- ・ 健康面…脳卒中 2011.7〜8 後、再発はしないか、何かあった時の医療関係は大丈夫か。薬品もきっちりしかもらえていないので。精神面…ストレスがたまりやすい。
- ・ 薬や日常つかっているコンタクトレンズなどの不足など。
- ・ 妻の健康問題。病院、薬などの入手可能か？
- ・ 安定的な収入。
- ・ 健康に気をつけたい。皆様と仲よくできるようにする事。
- ・ ①年齢 75 才 2〜3年の避難生活で健康状態の変化、②持家・戸建で被害の状態にもよるが、その後の復興等。
- ・ 今後私たち夫婦も高齢となり、健康問題や心身の障がいがか特に心配です。
- ・ 内科および整形外科の薬が必要。
- ・ 自分の健康の事、掛りつけの病院が変わる事。
- ・ 精神的肉体的健康が維持できるか心配。

- ・ 健康管理と食事、医療機関。
- ・ 高齢（70才）であるが、健康、医療介護施設の充実。
- ・ 健康、医療。
- ・ 高血圧治療中、少々不安あり。避難が長くなれば健康に不安がつのる。
- ・ これと言って問題はない。ただし2人とも高齢であるので病気に対して不安がある（病院とか）。
- ・ 仮住まいにより起こる心身の不安。経済問題。
- ・ 現在、80才の主人と2人暮らしなので、又主人は持病がありますので、その点が心配あります。
- ・ 高齢者、障害者家庭のため、日々の生活が不安です。
- ・ 慢性疾患をかかえているので（特に整形外科的なものとアレルギー疾患）ベッドのこと（固さなどの調整）。空気の清潔さ（自宅では合室、空気清浄器使用）等。かなり贅沢と思われることですが、問題となる。
- ・ 子どもの健康問題。
- ・ 元の日野市に戻れるかどうか、通院しているのでその確保。
- ・ 家族が病気になった時にすぐに医療が受けられる環境が整っているか心配。
- ・ 脳梗塞をわずらったために薬をきらすと大変ですのでその点が気がかりですネ。
- ・ 健康管理のみ。
- ・ 心身に障害があり、要介護3で介護を受けている。続けて受けられるか不安、心配。
- ・ 一番の気がかりは自分の健康状態（年老いてる、体の状態に色々出ている（持病など）、知らない人との協同生活に対する不安、家族との関係）。
- ・ 夫婦とも年老いているので常備薬が切れてしまうのが一番心配です。元気で助かった場合の事です…生存できるかが問題です。
- ・ 現在、通院治療をしているものがあり、支障無く治療が受けられるか心配。
- ・ 健康面。
- ・ 健康。
- ・ 現在は健康であるが、やはり老齢なので医療が心配である。その他には特にない。
- ・ 健康と薬。
- ・ 家族が体調不良のため〔長期避難生活は〕おそらく無理だろうと思います。
- ・ 家族に障害を持っている者がいるため、長期避難になった場合にその避難先の設備などが使えるかどうか判断できず、不安である。
- ・ 夫が障害者1級で自分で歩くことができないため、避難所等での生活はとてもむずかしい。
- ・ 子どもたちも独立し、妻と2人暮らし。妻は3級障害者で移動は困難である。
- ・ 避難先では、病院が遠いので、急な病気の際は心配です。
- ・ 透析治療をやっていますので 日野市立病院が頼りです。
- ・ 足が悪く長期間歩くことが困難、夫、妻とも。
- ・ 病院への通院。友だちが近くに居ない淋しさ。
- ・ 健康問題。
- ・ 身体障害者（2級）なので足があまり早く歩けない。

■ 心理面、精神面の負担

- ・ 精神的な不安が一番心配。
- ・ 4人家族であるが、これまでのようにできる限り、同居したいのだが避難生活の中で、ムリがきくとは思えない。このようなストレスが一番気がかりである。(ガマンできる範囲のことが一番ストレスとなる気がする)
- ・ 一時的に親戚の家に身を寄せることができたとしても長期になるとそこに居づらくなると思う。
- ・ 避難生活の中で受けるストレスで、自分の健康状態を保てるのかどうか心配である。
- ・ 避難生活のストレス、仕事の有無(現在の仕事を続けられるか?)
- ・ 避難生活というものをしてきた事がないのでよくわからないが、多勢の人たちと一緒に暮らすという事へのストレスや、気をつかったりなどの精神面、これからの不安など精神的な面から、病気や気が弱くなったりなど、そういった面が気がかりです。
- ・ 精神的ストレスがどれくらいになるか心配。国がちゃんと守ってくれるか不安。
- ・ 親戚に対する気兼ね、経済的な負担の多くなる事、その土地に馴染んで新しい友人などができるかどうか。
- ・ 震災直後や1年目、2年目までは何とか前に進もうと努力するが、3年目以降になると、なかなか進まない復興に不安を感じたり、先が見えなくなり絶望感を強く感じてしまうと思う。特に50代、60代の方は体力の衰えなどもあり、そうなりやすいと思う。
- ・ 長期にわたる避難生活は自分にとって非日常的生活となりリズムの変調や生活基盤再建への期待など心身に与える影響がとても心配しています。
- ・ 第一に家族の精神面、ストレスなどのケア。生活面、仕事面など心配です。
- ・ 現在私はいくつかの病気を患っており、通院しているクリニックがあります。特にメンタル面の状態がひどく人と会話することができませんし、不眠症で睡眠薬がないと眠れません。家事もほとんど行っておらず、ひきこもりに近い生活をおくっています。知らない方と避難生活を続けていくことは不可能です。最悪の場合は自殺をするのではないかと思います。また、犬と暮らしているのでも犬はどうなるのか心配です。私にとって犬は大切な家族なので離れたくありません。(読みにくい字で申し訳ありません。目にも異常があるため、ちゃんと文字が書けないため)
- ・ 精神的苦痛、生活の質の維持、収入。
- ・ 精神的苦痛、不安、プライバシー。
- ・ 見通しの持てない避難生活だと、必ず弊害があると思います。
- ・ 環境の変化で健康であった人でも食欲不振など身体的な症状が出てくるのではないかと心配している。眠れなくなったり狭い部屋の中で家族の行動が見えイライラしたり、ストレスもたまる心の不調が出るのではないかと気がかり。
- ・ 親族と言ってもその家に負担を掛けるので申し訳なく思う。犬もいるので…。
- ・ 避難した場合親戚との交流・連絡がスムーズに行かなかった時、心身の頼りが不安になると思う。環境の変化に適応できるか…うつ状態になったりしないかと心配。避難生活に伴う心身の健康が気がかり。

- ・ 精神的な問題（ストレスや不安など）。
- ・ 健康問題（精神的不安等）、金銭的問題（生活費の確保）、せまい住宅で暮らすストレス、隣人との騒音、高齢になっていくので健康が心配。
- ・ 精神的ストレスが心配です。
- ・ 妻のメンタル面（精神病のため）、子どもの勉学。
- ・ 心がやられると思う。
- ・ お世話になる方への気遣いで疲れてしまいそう。もし、家が壊れたら、将来への不安で押し潰されそう。
- ・ ストレスによる心身の不調、病気を発症すること。
- ・ 長期避難は無理だと思う。ストレスが解消できそうもない。

■高齢などケアの必要な家族

- ・ 現在私の母と同居です。今は介護認定を受ける程のことではない状況ですが、何年かすれば必ずや訪れる事、安心な介護が受けられるのか…あとは精神的に（母だけでなく）相当まいってしまうと思うので仮説住宅だとしてもなるべくプライベートな事を守れるような住宅であってほしいし、保険証の発行や清潔な医療処置が行なえるような場所が確保できるのか心配です。
- ・ 自分自身の生活は守れそうだが、両親の生活を守れるか不安。
- ・ 同居する家族に高齢の親があるので生活全般に関して不安がある。介護認定も受けているので生活に制限もある。本人としては、会社員として勤務しているので、継続して勤務し、収入を得ることができるか、経済的不安。
- ・ ①近隣（同じマンション内）に住む親の介護の問題（要介護父と要支援母）、②子ども（大学生と高校生）の通学の問題、③自分の会社（国分寺）の問題。～会社として活動できているのか～、④被害の程度の問題→活動ができるなら近隣の親せき、又はホテル等への宿泊も考える。
- ・ 97才の母がいます。避難生活は無理でしょう。アパート経営をしているので収入もなくなり困ると思います。
- ・ 同居はしていないが近くに住む要介護の両親についての心配はあります。
- ・ 今回のアンケートに回答し、自分、両親兄妹、親せきがほぼ全員東京都内在住、勤務なことに気づきました。若い自分と兄妹は、仕事も住まいもどこへ行ってもどうにかしていける気がしますが、両親と子どものいない親せき（の方が若い人より人数が多い）の避難生活含む行く末が大変だと気づきました。
- ・ 八王子市に一人暮らしをしている母親の事。
- ・ 妻の健康が保てるか心配。介護支援が現在と同じ程度に受けられるのかわからない。
- ・ 自分の両親（非同居、八王子在住）のこと。
- ・ 同居してない親の介護をしているため長期「避難」は難しい。
- ・ 同居の要介護の親の介護サービスや通院。ペットとも離れられない。
- ・ 妻が認知症のため、周囲の方々に迷惑がかかる事が気になります。
- ・ 自身の生活の他、高齢の両親（別居）の面倒がどうなるのか不安になります。
- ・ 特別養護老人ホームに入所している祖母の介護。

- ・ 父親が高齢なので、医療面が心配。
- ・ 母が高年齢で介護のこともあり、自身もそれほど若く健康ではないし収入のことも考える。
- ・ 94 才の母親と同居しており、仮設住宅の暑さ寒さは生命に係わると心配しております。
- ・ 別暮らしですが障害者がいる。
- ・ 親の健康、自身の健康。
- ・ 高齢の義母がいますので、健康が気になります（今は自分のことはできています）。
- ・ 主人が介護のサービスを受けているのでその点が気になります。
- ・ 施設入所中（市内）の父親の処置。
- ・ 一人暮らしの母の所へ行けなくなってしまう事。
- ・ 主人の実家は長野県ですが、自分の実家は東京です。その実家の両親が心配です。
- ・ 配偶者の両親が日野市在住なので心配。
- ・ 同じ日野市内に実母が一人で暮らしており、フォローが必要。
- ・ 在宅介護をしている。

■ 子どもの教育など

- ・ 3 人の子どものこと（1 才、4 才、6 才）。
- ・ 子どもが避難先での生活になじめるかどうか。
- ・ 子どもの教育について。2 人の子どもは高校生のため、大学進学等の不安があります。又、慣れない場所や充分に必要な物が手に入らないなどのストレスによる心身の衰弱が心配です。主人の職場がなくなった場合、収入確保も心配です。
- ・ 子どもの学校…公立の小、中学校は市や都で対応してもらえたとしても、私立の中、高校や大学などはどうなるのか？お金…収入がなく、何も持たず避難生活を続けていけるものなのか、それが長期になると個人の預金ではどうにもならない。
- ・ 子どもの大学への通学が最優先なので、長期に渡る遠方での避難生活は考えられない。通学できる範囲で賃貸アパートなどを探することができるか。生活費は、どのくらいかかるか。
- ・ 私自身が単身で東京に残ることになるので子どものことが心配。
- ・ 子どもが高校・中学・小学生なのでそれぞれの学校への通学をどのようにしたらよいのか。学校の対応次第で、他県への避難はできないと思う。
- ・ 乳幼児の成育に関わる全般（食事、授乳、オムツ、泣いた時の周りへの配慮など）。妊娠中だったら、胎児への影響とストレス（精神的）などの負担。都や市がどのように復興していくと考えているのか（具体的な年月日）。
- ・ 子どもが小さいためすべてが心配。
- ・ 子どもの学習関係や心身の問題。生活面の心配。住宅問題。交友関係など。
- ・ 同居ではないが市内に息子家族が居るため小さい孫たちが気がかりです。
- ・ 日野市内に長男家族が 4 人で暮らしており、子どもが幼小のため通園等で何かと面倒を見ている。
- ・ 子どもの進路や受験勉強に落ちついて取り組めないのは困る。小学生以下の子もた

ちの運動不足も懸念される。

- ・ 子どもの教育、仕事の有無。
- ・ 知的障害をもつ息子がいます。集団での避難生活をできるかどうか不安。まして長期となると非常に困難と思われます。また私自身持病があるので、医療的なことが気になります。
- ・ 中学生の子どもの障害、不慣れな場所だとパニックをおこす。
- ・ 子どもの成長に伴う心のケア。
- ・ 子どもが心配です。

■親族や友人知人とのつながり

- ・ 離れている家族や友だち、知り合いなどとすぐに連絡がとれるかどうか？また会うための交通手段がすぐに使えるかどうか心配です。
- ・ 親類、知人、友人、隣人との連絡や相談、心が開けるような環境が整えてあるだろうか。
- ・ 全てがバラバラに崩れていくことが心配。家族がはなれて生活したり、転校したり。
- ・ 家族の仕事が東京なため、私が避難したら別居になる。子どもがいない夫婦2人だけなので…、お互いに1人きりになってしまう。
- ・ 家族関係、築いてきた社会的な人間関係、人生設計の遂行の中断、高齢の家族の精神面、自分自身のストレス。
- ・ 現在の知人とのコンタクトがなくなる。
- ・ 自分の実家や兄弟は皆東京に住んでいて、彼らの生活が気になり。(避難生活をする場が、避難所以外にないと思われるので)。
- ・ 人と人とのつながり。個人情報保護法がいのちをうばうことのないように。
- ・ 現在が娘夫婦、孫たちと同居しておりますがいつしよにいられるかどうか。年をとってくと精神的にどうなるか？心配事は考えればいっぱい。
- ・ 2ヶ月余り前に現在の家に引越したばかりである上に、新しくできた住宅街のため地域のコミュニティが希薄である。
- ・ 家族がバラバラに避難生活したくない。ペットがいるのでペットとは離れたくない。
- ・ 家族は実家へ。本人は勤務地近くに当面単身赴任。
- ・ 自分には仕事(公共交通機関)があるため、他の土地へ避難はできない。家族(妻・老親)は避難する必要になれば、避難してもらおうことになる。家族が離れて暮らすことの不安がある。親が高齢なので、健康面で不安がある。

■情報の入手

- ・ いろいろな情報が的確、迅速に得られるかどうか。特に迅速に、という点はとても重要だと思う。
- ・ 他の自治体に避難した時、必要な情報が速やかに入手できない。
- ・ 他県に行った際、日野市の現状を知る手段について。
- ・ 東京都及び日野市の現状情報及び自治体の情報。

■交通インフラ

- ・ 避難想定地域が多摩の近隣地なので、中央自動車道、JR 中央線などが、大規模破壊を受けた場合、避難が困難になる可能性がある。また、長期の交通途絶も考えられる。
(2014年2月14日の豪雪では、国道20号、中央自動車道、JR中央線が山梨県東部(大月市～上野原市間)で4～5日間交通途絶した。)
- ・ 通勤、通学ができるかどうか。
- ・ 図書館(国会図書館、都立図書館、大学図書館)へのアクセス。
- ・ [避難先の]目的地に行けるか問題(交通手段等)。
- ・ 通勤時間。

■避難先の確保

- ・ 発生時点での避難場所の確保(公共施設(学校や市役所等))が避難場所として、設定されているが、東京の過密した人数の受け入れが困難かと思われる。上記の理由等による体調不良者の急増(医療機関、医師の不足)、当面の食料、飲料水の確保困難、交通機関のマヒによる通勤問題。
- ・ 親戚が関東地方に多いので、関東エリアが被害にあうと、身を寄せる場がかなり限られる。
- ・ 日野市外へ住んだ事なし、親戚なし。
- ・ 親戚の家も、八王子、立川、相模原と近くにあるためこの辺に災害が起きた時は、どこに行けばいいかわからない。考えたこともなかった。長期に避難生活になると医療の問題とか不安があります。
- ・ 子どもを望んでいますので地震が起こるのが妊婦のうちなのか、出産直後なのか色々心配はあります。主人の実家に住めればいいですが、神奈川もダメなら避難所になりますので…。
- ・ 地震が起きた際、自身 and/or 家族にけが人が出たかどうかで、問12-3の答えは変わってきます。避難先は「神奈川県川崎市」なので、多摩地域の大地震で、同様に被害を受ける可能性があるのでは、確実な避難先とは言えません。
- ・ 避難生活の期間(イメージ)をつかみたい。つかめない場合は、日野市から離れる。
- ・ 避難先の被災可能性。
- ・ 借家がこわれてもどれなくなったら、長期の避難生活を送るしかない。東京は人口が多い分、避難民も多くなる。食品、水、生活必需品の確保ができるのか?
- ・ 地震があった場合どこに避難していいのかわかりません。
- ・ 俺(75)は一人暮らしであるから子どもには横浜・足立区。日野で孫の学校の関係もあるので、関西の兄弟(70才代)の家に世話になる。子どもらは別世帯で生活をしている。
- ・ 長男は千葉県市川市に住居を構えています、何かあったら相談して生活したいと思っています。
- ・ 都の福祉施設で仕事をしております。仮設住宅からの通勤は必須です。仮設はせまいと感じます。友人宅が岩手で仮設に入り、とてもせまく、[避難生活が]長期に渡るのには心配です。

- ・ 仮設住宅にいつ入居できるのか？家族全員が入居できるスペースがあるのか？入居できたとして、生活費の出費、通帳持ち出せない場合どうなるのか。体調をどのように維持するか（カード等、保険証・身分証明になるもの…）。
- ・ 東京都内での仕事をしているので、東京からは離れられない。その中で避難生活を送れるような住まいが見つかるのかどうか（ペット同居で）。
- ・ 田舎にある自宅は、南海地震がおきた場合は避難できない場所なのでその点は心配している。

■ 避難先での生活環境、プライバシー確保

- ・ 避難先での避難に来た方との交流など付き合いについて。プライバシー。
- ・ プライバシーの確保、医療・薬品（常備薬）、町の再建への協力（勤務地も含めて）。
- ・ 他の避難者とのコミュニケーションや、プライバシーの事。
- ・ プライベートの問題とライフワーク。
- ・ プライバシーの確保。
- ・ プライバシーの維持、健康の維持。
- ・ プライベートの空間がなくなる。
- ・ その時になってみないとよく分かりませんが、環境、プライバシーなどでしょうか。
- ・ 2～3年の長期になる場合はインフラ以外にある程度のプライベートを守れる空間が欲しいです。色々考えてみましたが実際どのような状態で避難しているかで全く答えが違うと思います。今は元気ですので雨風がしのげ食事ができ好きな本を読めればいいかな…などと考えてます。
- ・ 子ども宅への避難を想定しているが、現状の生活パターンを乱してしまうこと。
- ・ 居住環境（スペース、利便性、人間関係）について不安を感じる。
- ・ 一人暮らしが長く、同居は非常に苦手なので、隣人の騒音や子どもの声やペットの臭いなど考えただけでとても不快で心配です。
- ・ 避難先の親戚に負担をかけるので、何年したら戻れるかの目処が早くついてほしい。
- ・ 趣味の運動ができない。やりにくくなる。
- ・ プライバシー、精神面など長期には不安。
- ・ お互いの生活の違いから生じるであろう気づかれ、ストレス。
- ・ プライバシーのことや避難している人のモラル・マナーが気になります。ピリピリしてるのにモラルの低下で不快な思いをするのか？と不安です。
- ・ プライベート空間の確保がされるか。
- ・ 今回の東日本大震災で起きた事は仕方のない事として、一番に考えさせられたのはその時の人の振る舞いと考え方でした。何年経っても昔の暮らしから抜け出せない人、そして年を重ねていれればいる程前向きになれない事も。人それぞれ考え方は違うけれど大きな難題にぶつかった時に、どうするかは日々話し合いを持ち、いつ大きな事が起きても耐うる精神力を持ちたい。
- ・ 隣人との仲。プライバシーがなくなること。
- ・ [避難生活が] あまり長いと気を使うので困る。
- ・ プライバシー。

- ・ 東京都外に親戚の家があっても、一時的な短期間の避難生活ならともかく、長期となると何かと色々難しいと思います。
- ・ 仮設住宅で生活する場合の周囲の人（家族）との関係。家族構成の似た家族でひとまとまりにすればいいと思うが実際はどちらなのだろう、私は小さい子どものいる家族の近くでは暮らしていく自信がない。
- ・ 地方の避難先での地域内人々とのコミュニケーションがとれるか心配。その地域内での孤立。
- ・ その避難場の生活様式（形態）に慣れるかどうか。寝るとき布団かベッドか、家の中では椅子での生活か座る生活か、自分の趣味や運動がどのくらい制限されてしまうか。
- ・ 住み慣れた土地以外で住む不安。周りが知らない方々の不安。高齢なため、今後の体調の不安。年金生活での生活で、避難生活での収入だけだとその先の生活への不安。年齢への不安。
- ・ 持病であまり人がたくさんいる所、人目にさらされ続けることがとてもたえられないのでその辺が心配。
- ・ 息抜きできるようなカフェや居酒屋、がほしくなるかも。
- ・ 1. 居住地毎にまとめた場合、よそ者扱いになり、そがいされる。2. 土着者以外は仲間に入れてもらえない。3. 新住民で1団地を作るならば何とかなる。
- ・ プライバシーが保たれる状況が有るのか？
- ・ 小さな子ども（赤ちゃん）が泣いたりして、うるさくても周りの人々は理解してくれるのか。
- ・ 全く知らない他人と同室で過ごす上でのプライバシーの確保。精神面のケア、衛生面、生活必需品。
- ・ プライバシーがどれだけ守られるか、衛生面特にトイレ。
- ・ 余暇、楽しみ（楽しめること）。

■ ペット

- ・ 犬も飼っているのでなるべくだったら自宅を離れたくない。自宅に住み続けられるよう最大限の努力をする。避難したくない。
- ・ 愛犬と離れて暮らすことは考えられない。故に避難所生活は私は、無理かもしれない。親戚の家というのも一時的には受け入れてくれると思うが、長期にわたると無理があると思われる。又、収入が無くなってしまうので貯金を切りくずしての生活となるだろうが、預貯金も多くはないので生活が続くかが心配である。
- ・ ペット連れの避難場所の確保。
- ・ 犬を飼育しているので、その点がどのような状態なのか。一緒に避難できるのか？と心配。
- ・ ペットと一緒に住むことができるか？健康管理（現在高血圧）。
- ・ 犬。
- ・ 我が家ではペットを飼っているので、エサや世話についてとても心配。私たち人間はある程度長期の避難生活でも自分たちでできます。ねむる所、食べる所、トイレ、お風呂などあれば、生活できます。別に問題がありませんが、そこにペットを持って行

けて世話できない方が心配です。

- ・ 犬を飼っているのが心配。

■ 行政に関わること

- ・ 現在でも生活保護費の不正受給者が堂々と生活しているため、益々その数が増大すると思え、ゾーと致します。今、危機的状況にない時点での行政のしっかりした基盤を築いていただき慶いと思います 地主と市役所がズブズブの慣れ合いの状態です。災害が来る以前の重要課題です。
- ・ 人口が多い首都圏において、全ての被災者のために短時間で仮設住宅が建設できると思えない。したがって、近隣の民間アパートを借り上げるしか方法はないが、家賃等については自己負担できない。仕事や通勤に支障が出て、収入が減る事が想定できるため、住宅ローンの一時的返済免除を国の施策として行うべきである。
- ・ 税金。公共料金の支払などはどうなるのか。
- ・ 夫婦二人だと、子どものいる家族などと平等に対応してもらえるのか心配。
- ・ 行政の方でどのくらい世話をしてくるかな、心配です。
- ・ 避難先での行政サービスが受けられるか不安。市の機能が停止した場合に、どのような問題が起こるか分からない。
- ・ 市の支援内容、復興のスピード。
- ・ 頼るところが無いので、政府の支援だけが頼りなところ。

■ 社会、経済全体の混乱

- ・ 10年後にひかえたオリンピックの開催が、きちんとされるのか、少しではありますが不安です。
- ・ 治安の悪化。
- ・ ①富士山の噴火とそれに伴う気象の異常→食糧危機、②対象国（防衛省用語）がこの機に剩じて侵略してくること。

■ 復興に関すること

- ・ 治安、インフラの整備、長期的なカウンセリング、住民税の減免はあるのか。
- ・ 長期、避難生活の仮設住宅は、一年以下にすべきである。
- ・ 復興の計画がずるずると遅れると、先の見通しが立たず、様々なことの判断に影響するので非常に困る。行政には、現在の東北の復興プロセスを教科書にして現実的な計画を立ててほしいと思います。
- ・ 国、地方自治体は、住民本位の復興対策を行わない。
- ・ 都内における治安維持。3.11に見る、見舞、募金等の執行制度整備。被災申請、認定における基準。あらかじめ、仮設住宅入居順を抽選等で決定し、被災後に空待ち抽選とする等、生活の見通しを明確にする。
- ・ 避難所での長期の生活は問題が多く初期の段階では自分を除く家族は遠地の実家などに避難することになると思う。問題は1~2年経過した頃に自家（土地所有）の再建がいかにか早くできるかということであり、その支援をなにか受けられるのだろうか

と考える。現実的に公的支援がそれほど受けられないとは思いますが、避難者が自立して復帰できることが最良の解決であるとは思う。

■その他

- ・ 今は、毎日の生活が精一杯で「もしこうなったら～」と言うような事まで考えられないのが現状です。反対に、今何ができるかが知りたいです。
- ・ 静岡県のセカンドハウスを活用するのでとりあえずの問題・心配はない。
- ・ 状況によるが、解決できるだろう。
- ・ 誰とでも何処でも順応できると考えているのでとりあえずの心配事はございません。
- ・ その時の状況に応じて考え行動して行きたいと思います。
- ・ 最終的には人間様だと思う。戦中、戦後と人の生き様をみてきてつくづく感じられます。人ではなく人形ですね。
- ・ 長期避難の間には高齢にもなるので様々な問題が起きる事だろうと思うが、現時点から気がかりな事と特定するものはない。
- ・ 実際の避難生活を経験しないと、なかなか問題点を把握できないです。
- ・ 現在 79 才、考えられない。
- ・ 年齢が若く、健康であっても避難生活は想像を越える厳しいものと思われる。年齢も日々年寄りに向っている今、一人でのくらしとなったら、どうなるのか？見当がつかない。
- ・ 見当がつかない。
- ・ 予想もつかない。
- ・ まったくわからない。
- ・ あまり思いうかばない。
- ・ 何もかも初めてなのでわからない。
- ・ わからない（その時にならないと）。
- ・ 特別に考えた事ない。
- ・ 考えたことがないので特にありません。
- ・ 特にありません。
- ・ 特に思いつきません。
- ・ 今のところ特になし。
- ・ 特に無し。
- ・ 特になし。
- ・ とくになし。
- ・ 別になし。
- ・ 全くなし。
- ・ ない。
- ・ ない。
- ・ なし。

■アンケートへの要望・意見

- ・ 漠然と長期間という事でなく、何年間とか目処をつけてもらいたい。